

# NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュースNo.21

皆様お変わりなく元気にお過ごしのことと存じます。3月末の5周年を祝う「サンサンまつり」は沢山の方々にご協力を頂き、楽しくにぎやかに終えることができました。この紙面をお借りして皆様にお礼申し上げます。

NPO 法人  
「三郷サンサンハウス」  
三郷町三室2丁目5-22  
Tel/0745-32-3535  
Fax/0745-32-3519  
理事長 上野登志子  
2009.6.1

さて、私たちは、常々NPOとして地域に役立つ活動を心がけてまいりました。三郷町から指定を受けて地域密着型の「認知症対応型通所介護のデイサービスあかねの里」と「小規模多機能ホーム萌の里」の事業を行う中から高齢者特に認知症や障害のある方に優しい街づくりにもっと積極的に貢献できないものかと考えてきました。今回、私たちが提起した企画「認知症高齢者を支える地域交流啓発事業」が、独立行政法人福祉医療機構の長寿・子育て・障害者基金助成の対象事業に認めていただき、事業所内外からプロジェクト実行委員会を立ち上げ準備しています。少しでも興味・

関心のおありの方は実行委員・ボランティアとして、三郷町の優しい街づくりに参加いただきますようお願い申し上げます。サンサンハウスの事務局（0745-32-3535）にお問い合わせください。

理事長上野登志子



## ヘルパーステーション

**TEL 32-3535**

今年4月から、介護者の給料があまりにも安いというマスコミなどの取り上げもあり、職員の給与を上げるため、国は3%アップの介護報酬を改定するとの報道に期待

をしておりました。しかしやはり一律に上がるのではなく、特養などが若年性認知症の方を受け入れた場合の加算、職員を基準よりも手厚く配置している事業所への加算ということで小規模の事業所ではなかなか適用になりにくいものでした。それにも増して、介護保険の基本となる認知基準がとんでもない改悪となり、認定調査の研修の場で不満も出て、厚生省は見直さざるを得なくなりましたが、根幹は変わらず表現だけを変えてお茶を濁すような状態です。例えば認知症の方でジャガイモが格安だからと70個買っても、支出入の管理を自分でしていれば「自立」となるなど、私たちの常識では考えられない表を参照にして認定が行われます。みんなが安心して老いていける保障がしてもらえるよう、みんなで訴えていきたいと考えます。

福島  
萬亀人

短歌

新緑の野は陽炎いて風にゆれ  
歌っています 春の草花

買い物に出でたる妻のメール待つ  
ベッドにながき 春の一日



## —認定調査の見直しについて—

平成21年4月から要介護認定の方法が見直されました。

「要介護認定」は、介護保険サービスを受ける際に必要な手続きで、要介護度に応じてサービスの利用限度額が異なります。要支援1・2か要介護1～5かで、「介護のある暮らし」が左右されます。

新認定では訪問調査82項目が74項目に減り、コンピュータの一次判定システムも変わりました。一次判定を修正するときは、調査員の特記事項(この内容が評価上の重要なポイントになるので日常生活や身体状況が目に浮かぶように書きます)と主治医意見書(認知症自立度のチェックが重要)をもとに判断されます。今回の見直しで「軽度になる人が増える」「必要な介護を受けられなくなる」との不安の声がありましたので厚生労働省は“検証・検討会”を設けて、きちんと検証を行うこととしています。検証の結果が出るまでの間は利用者さんに安心感を持っていただくために経過措置が取られます。要介護度が変わっても(軽度・重度を問わず)従来通りの介護度を選ぶことができます。また調査項目の選択基準が変わりました。たとえば、以下の項目はすべて「自立(介助なし)となりました。

- ・寝たきり状態で移乗や移動の機会が全くない場合
  - ・生活習慣で歯磨きや洗顔を全く行っていない場合
  - ・スキンヘッドや短髪で整髪の必要がない場合
- 等々です。

しかし、直後にこれらに修正が行われ「介助されていない」に改められています。なぜ認定調査の見直しが行われたかというと、これまで調査員個人の判断基準にゆだねられていた認定結果のばらつきを減らし、曖昧な判断基準を統一してより正確に介護の手間を反映し、不公平感をなくすのが目的です。新しい調査では介護の量とその頻度に重点をおき、本人の能力換算をしないというデメリットがあります。たとえば独居生活の人が不自由な体であってもがんばってなんとか自力で生活をされていると介護度が軽くなります。しかし同状態でも家族が手伝って一部介助していると介護の手間がかかるので、重度になるケースもあります。また施設入所の人は本人能力はあっても、施設の事情で全介助されているので、重介護度になるというケースがでできます。新認定になっても公平な介護認定は難しいようです。やはり重要なのはどの調査員が行っても公平公正かつ適切に調査が実施できる知識や技能の習得が大切なのではないかと思っています。尚、福祉用具レンタルは要介護2以上



でないと電動ベッドや車椅子のレンタルができませんが、主治医が必要と認めたらケアマネージャーが医師の意見を聞き取り、書類を作成すれば本当に必要な人には借りられるシステムがありますので、ぜひケアマネージャーに相談してみてください。

中川香代子

## 小規模多機能ホーム 萌の里

TEL33-3555

この春から、萌の里で勤務させていただいています。3月に大学を卒業したばかりの社会人1年生です。これまでに、様々な施設で実習やアルバイトを経験してきましたが、いざ職員として自分が働くとなると、最初は変に力んでしまい、空回りが多くたのですが、最近は、徐々に肩の力も抜け、今の自分にできることから少しずつやっていけばいいんだと思えるようになりました。萌の里で働いて気付いたのは、利用者の方々の笑顔にはとてもパワーがあるということです。毎日、皆さんのお顔からたくさんの元気をいただいています。✓「笑って下さい!!」など一言もお願いしていないのに、この満面の笑み☆ご近所の方からいただいたジャスミンの花と撮ったベストショットです。部屋中花の香りが広がり、皆さんうっとりとされていました。この後、おやつのパンケーキを皆さんと一緒に焼き、手作りジャムをぬってステキなティータイムを過ごされました。何か特別なことをするという訳ではなく、何気ない普段の生活の中から生まれる笑顔を大切にしていきたいと思います。これからも、いろいろな場面で“生活のお手伝いをさせていただく”という意識を常に持ちながら、日々努力していくことを思っています。よろしくお願い致します。 内藤智子

TEL50-7970

## サンサンサロン

「こんなええとこ、ほかにはあらへん、ここに来るのが私の生きがい」と、いつも来る度に言って下さる95歳になられたK・Kさん。この布で何か作れへんやろか、この料理どうやって作ってあるんやろ?どんな時でも絶えずいろんな事に興味を持たれ、積極的に取り組んでおられます。ボランティアや利用者の人もKさん様に歳を重ねていけたらいいなと思っています。そのKさんから皆様へのメッセージです。

### サンサンサロンへのお誘い

三年前からサロンに参加させていただきました。

午前十時に迎えられ、調理員のはずむ包丁の音を聞きながら料理を教わり、心のこもった料理をいただく。材料は無料で手芸を習いおやつを食べ

て三時に終わり、幸せな一日が終わります。

此の年になって、こんな楽しい日が迎えられるとは・・・

皆で此の幸せを共に分かちあいたいと思います。



# ディサービス あかねの里

TEL31-3536

あかねの里の春は、豆まきやひなまつりがいつもの行事ですが、今年は、サンサンハウスの五周年記念事業「サンサンまつり」の忙しい春でした。

何日もかけてたくさんの花を作り、デイルームの真中にある柱（いつもはとっても邪魔になる）を桜の木に見たてて飾りつけをしました。蝶々や青虫までつけて・・・



家族ボランティアチンドン屋さん

まつり当日は、天候にも恵まれ、玄関前でのバザー、デイルームでの出し物（サンサンハウス実行委員会報告に詳細記載）の盛り沢山な内容に来場して下さった方々の笑顔と熱気でいっぱいになりました。なかでもチンドン屋さんの登場には初めて間近で見る方も多く、はじめその音と迫力に驚いておられた表情も、軽妙な話術にかかりあっという間に大爆笑になってしました。楽しい一日となりました。

ご協力下さった沢山の方々、本当にありがとうございました。さて、もうひとつ、あかねの春と云えばお花見です。今年は長く桜を楽しむことができ、また、ボランティアさんのご寄附頂いたお金でレジャーベンチを買わせて頂き、場所を気にせずあちこちへ花見に行くことができました。桜ふぶきの下でのお弁当！ おいしかったです。これからは、このベンチとテーブルを車に積んで新緑を楽しんだり、おやつをもって外でお茶をしに出かけたりしたいと思います。元気な私たちをどこかで見かけたら手を振って下さ～いネ 岡田登志



八重桜

## たすけあいの会

TEL32—3535

たすけあいの会では、4月から利用料を今までより200円値上げさせていただきましたが、みなさんにはご了解いただき引き続きご利用いただいている。

今まで介護保険でできていた部分ができなくなったり、要支援が自立になり介護保険がつかえなくなったなど、介護保険制度が厳しくなり、たすけあいご利用も増えています。たすけあいの会では、いろんな人、いろんなご依頼にお応えできるよう、活動者を増やすなどして組織の強化に努めたいと思います

現在は、居室・トイレ・風呂場掃除や病院での食事介助などを行っています。



### 新料金（1時間あたり）

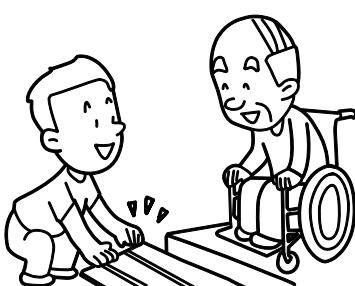
家事援助	身体介護	身体介護	草抜き	草刈り	植木剪定	大工・修理・運搬	交通費
1,000円	1,100円	1,400円	1,100円	1,800円	2,800円	1,500円	1回 100円

## サンサン福祉タクシー

TEL32—3535

利用者さんから「やさしい」「ていねい」「話題が豊富」など、概ねよい評価を頂いています。

決算にあたり、ここ数ヶ月の利用件数をあたっていて愕然！！なんと3割近い件数減となっています。その原因是入院・入所が増えていることも一つと考えています。介護保険の通院乗降介助は、地元三郷町だけにとどまらず、平群町や斑鳩町、王寺町など他町の社会福祉協議会を始めとする居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員（ケアマネージャー）さんからの依頼によるものが大半を



占めています。そんな中で、ここ1年ほどの間、ケアマネージャーさんの召集するサービス提供者会議などではヘルパーステーションの責任者がお会いしているものの、肝心のタクシー事業から居宅介護支援事業所のケアマネージャーさんに対するタクシー利用についての説明が出来ていないことに思いあたりました。

今後は、頻繁に事業所めぐりをさせて頂き、われわれヘルパーの宝物である利用者さんのよい評価に応えつつ、より質の高いサービスが提供できるよう、介護技術についても高めていくことが、件数減を回復させる解決策かなと思っています。

春木ひとみ

# 高齢者の家「あかねの里」

TEL 31-3536

6人中4人までもが2、3月の誕生日というあかねの里ではご家族からのお祝いで華やかな賑わいの月でした。

## チューリップ 赤をそろへて 誕生日

今では、新緑の美しい季節になりましたが、今年は3月4月とみなさんで季節の花を見るためにドライブに出かけられ、箸尾の高田川では、堤防の桜のトンネルや澄み切った水に泳ぐ鯉の群れに歓声が出る等楽しいひと時を過ごされました。歌に詠まれた「えごの花」の時期を楽しみにされていた I 様は生憎の雨でしたが、ゆっくり楽しんで来られました。

サ・クラとふ名に背ぐなくうはしろみ 神々しきまで桜吹くなり  
見る事のまたいたびぞと思ひつつ 桜見て来ぬたかだ川堤にえご  
《入居者から》

この共同住宅が[あかねの里]と名付けられたのは、この二階から眺める夕映え、茜の空が見事だからと聞いておりますがそれだけではなく信貴山の雄岳雌岳、朝護尊寺も見ることができます。春になると偏照院のしだれ桜が望まれ、つづいて稜線に信貴山の桜が咲きはじめます。

鎮守の森の際にある桜が咲きと、居乍らにして花見を楽しむことができるのです。セピア色の山にもこもことみどりが盛り上がり、季節の移ろいを教えられます。それから、いちばん感激したのは PL の花火が見えることです。音がしてくると南西の空に注目です。次々に大輪の花が夜空を彩るのはなかなかのみものです。

信貴生駒の稜線から四季の移ろいを感じながら日々を過ごせることを、現在は幸せに思うべきなのでしょう。（K. I）

## サンサン祭実行委員会

サンサンハウス理事会の決定を受けて、創立五周年のまつりを実行委員会中心で今年3月を開催目標にして開始したのが昨年10月。この間、催しのなまみを検討したり、ボランティアさんへのお願いをしたりと、忙しい仕事時間を縫って6回の委員会を開きました。

事前の活動としては、ボランティアさんの協力も頂き、遊休品バザーの出品をお願いするチラシやポスターを二回地域に配布させていただきました。バザーへの協力申し入れは地域の方々から日を追って増え、



萌の里模擬店とチンドン屋さん風景



あかねの里バザー風景

「老夫婦の家を片付けたいので」「大掃除で出たのだけれど」と、ベッド、Pトイレ、シャワーチェアなど大きなものから、食器、衣類、小さな手作りマスコットまで種々集まりました。バザーの値つけは多種多数の遊休品の山に囲まれて委員総出で行い、当日は来場の皆さんと楽しい会話をさせて頂き、時間内にあらかたは販売を終了することができました。

模擬店は、地域の団体やボランティアの方々に支えられ、ちらし寿司、おでん、ぜんざい、お好み焼き、焼きそば、ケーキ、クッキー、コーヒー、ジュース、おにぎり等々、私共の事業所がもつ力以上の賑わいとなりました。

あかねの里での催し物は、チンドン屋さんの町内練り歩きで、ゆく街角毎に写真撮影のリクエストを多数いただき、お披露目は上々のうちに口火が切られました。

あかねの里の出し物としては、琴、手品、腹話術、子供たちの踊り、大人の舞り、アコーディオン伴奏付きの歌唱等々、利用者さんのご家族やボランティアさんに多彩な「芸」を提供して頂きました。また、萌の里では、映画会「明日の記憶」を開催し、地域のボランティアさんによる焼きそばやおにぎり、クッキーの販売も致しました。事前の心配をよそに、当日はたくさんの来場者があり、映画会場は椅子を急遽増やすなど嬉しい悲鳴をあげるほどでした。おいで下さった皆様には種々不行きとどきの点があったことと存じますがお許し下さい。

地域の皆さんにもっともっと「あかねの里」「萌の里」を認知して頂くために、毎年「サンサン祭」が出来たらいいねと、実行委員で反省会をもち一日を終えました。

ほぼ盛会のうちに終えることができましたことは、支えて頂いたご家族、ボランティアの皆さんのおかげと、末筆ですが改めてお礼申し上げます。 藤本和子



## お知らせ

このたび「独立行政法人福祉医療機構」の「認知症高齢者を支える地域交流啓発事業」今年度分助成金が決定し、現在、各種講演会や活動を準備中です。

第一弾として、下記のとおり講演会等を予定していますので、お知らせいたします。  
記

### ★その1

とき 2009年7月5日（日） 13：00—14：30

ところ 未定

演題 「認知症について（仮称）」

講師 織部 裕明氏 （ハートランドしげさん病院 物忘れ外来）

## ★その2

とき 2009年9月20日

ところ 三郷町図書館視聴覚室（予定）

演題 「共に支え共に生きる（緩和ケアについて）」

講師 沼野尚美氏（KKR六甲病院緩和ケア病棟 病院チャプレン）



## ★その3

萌の里では夏に集いの場所「あずま屋（仮称）」ができます！

6月4日（木）より毎週木曜日にドンキー（ちいしば園）のパンを販売します。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ [保存版]

介護する人に応援歌ができました。

つらい介護に心が挫けそうになったとき、聴いてほしい曲です。

わたしたちヘルパーも、ご家族さんのようにはいかないかも知れないけれど、あなたの歩んだ人生に寄り添って行きたいと思っています。

あなたの降ろしたトランクのなみを少しだけ見せていただけますか。

手紙 親愛なる子供たちへ／歌詞（歌：樋口了一）



原作詞：不詳／訳詞：角智織／補足詞：樋口了一／

作曲：樋口了一／ストリングス・アルツ：本田優一郎

年老いた私が ある日 今までの私と違っていたとしても どうかそのままの私のことを理解して欲しい

私が服の上に食べ物をこぼしても 靴ひもを結び忘れても あなたに色々なことを教えたように見守って欲しい

あなたと話をする時 同じ話を何度も何度も繰り返しても その結果をどうかさえぎらずにうなずいて欲しい

あなたにせがまれて繰り返し読んだ絵本の暖かな結末は いつも同じでも 私の心を平和にしてくれた

悲しい事ではないんだ 消え去っていくように見える 私の心へと励ましのまなざしを向けて欲しい

楽しいひと時に 私が思わず下着を濡らしてしまったり お風呂に入るのをいやがるときには思い出して欲しい

あなたを追い回し 何度も着替えさせたり 様々な理由をつけて

いやがるあなたとお風呂に入った 懐かしい日のことを

悲しい事ではないんだ 旅立ちの前の準備をしている私に 祝福の祈りを捧げて欲しい

いずれ歯も弱り 飲み込む事さえ出来なくなるかも知れない 足も衰えて立ち上がることすら出来なくなったら

あなたが か弱い足で立ち上がりうと私に助けを求めたようによろめく私に どうかあなたの手を握らせて欲しい

私の姿を見て悲しんだり 自分が無力だと思わないで欲しい

あなたを抱きしめる力がないのを知るのはつらいことだけど

私を理解して支えてくれる心だけ持てて欲しい きっとそれだけでそれだけで 私には勇気がわいてくるのです

あなたの人生の始まりに私がしっかり付き添ったように 私の人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい

あなたが生まれてくれたことで私が受けた多くの喜びと あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい

私のこどもたちへ 愛することもたちへ

\*♪.☆\*♪\*★\*♪.☆\*♪.☆\*♪\*★\*♪.☆★\*♪.☆\*♪\*★\*♪.☆\*♪.☆\*♪\*★\*♪.☆★\*♪.☆\*♪\*★\*♪.☆\*♪.☆\*